

—5000円台という衝撃!—

ノイキャン&アプリ対応で 驚くほど良バランスな音

透明度や解像度の高いサウンドで人気を集める水月雨(すいげつあめ)から、音や機能性は真面目ながら、デザインは遊び心に溢れた完全ワイヤレスイヤホンが登場。大型ドライバーがもたらす余裕ある自然なサウンドは価格以上の魅力がある。

文/野村ケンジ
Kenji Nomura

写真/田代法生

ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

水月雨

Space Travel

¥OPEN

(直販サイト価格¥5,670/税込)

▶投票 No.004

SPEC ●通信方式:Bluetooth Ver.5.3
●対応コーデック:SBC、AAC ●ドライバー口径:13mm ●連続再生時間:最大4時間(ケース込み約16時間) ●質量:4.3g(イヤホン片耳)、34.0g(ケース) ●付属品:イヤーツップ(S/M/L)、充電ケーブル



派手な見た目の中にある本物の音

J-POPにも耳馴染みがよいサウンドで好評を博している水月雨から、新しい完全ワイヤレスイヤホン「Space Travel」が登場した。「蓋なしケース」を採用した個性派デザインが魅力だが、機能性も充実している。最大-35dBを謳う騒音低減を發揮するアクティブ・ノイズキャンセリング機能を備えるほか、外音取り込みも用意。また、4回イヤホンをタップすればゲームモードに入り、55msの低遅延を実現。さらにスマホアプリ「MOONDROP Link 2.0」を活用することで低域を(Monitor/Reference/Basshead)の3タイプに切り替えられる「BASS control」、タッチ操作のカスタマイズなども行える。

チタン複合振動板に加えCCAWコイルとN52ネオジムマグネットを採用した13mm口径のダイナミック型ドライバーが生み出すサウンドはというと、素直な音色と明瞭な表現が特長。完全ワイヤレスとしては大型といえるドライバーサイズのおかげか、中低域の表現に余裕があるため、無理に低域の量感を稼ぐ必要もなく、そのぶん自然な音色を実現できたのだろう。コンプレッサーが強めにかかったJ-POP楽曲も聴きやすく、それでいてハードロックもグルーブ感を失わず、絶妙なチューニングに仕立てられている。特に米津玄師は、実体感のある魅力的な歌声を聴かせてくれた。多彩な機能性と良質なサウンドを持ち合わせていながら、5000円台というプライスタグは驚き。コスパで選ぶなら最有力候補としてお薦めできる製品だ。

衝撃

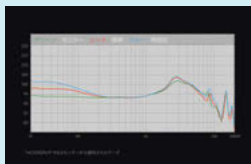
大口径13mmドライバー搭載



限られた電力で最大のパフォーマンスを得るため、13mm口径のチタンコーティング振動板を採用。水月雨らしくCCAWコイルとN52磁石を組み合わせて高速な応答を実現している。

衝撃

Bassコントロール



スマホアプリ「MOONDROP Link 2.0」を使えば、低音を3段階から調節できるほか、タッチ操作のカスタマイズも行える。

衝撃

他にないデザイン



幻想世界をテーマにしたデザインは、他にない魅力を放つ。蓋はないが逆さにしても問題なく使える。